

兵庫県 のり漁場環境情報 (西播海域 16 号)

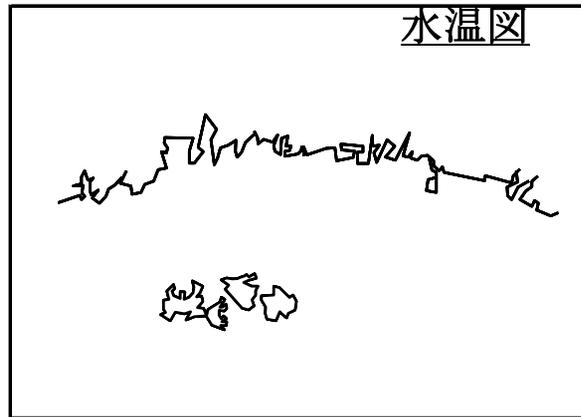
2023年 3月 7日発行
 兵庫のり研究所

西播地先では、小型珪藻のキートセロス、大型珪藻のユーカンピアが依然確認されています。沖合漁場では、キートセロスは確認されますが、発生量は少ない状況です。窒素は、西播地先の陸水等の影響が見られる地点で概ね2~7 $\mu\text{g-at/L}$ 台、その他の海域で1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値となっています。

(珪藻、栄養塩)

西播地先において、小型珪藻のキートセロス、リゾソレニア、大型珪藻のユーカンピアは確認されるが、発生量は前回(2/27)調査より減少傾向にある。沖合漁場では、海域全般にキートセロスは確認されるが、発生量は少ない。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、西播地先で10~150細胞(前回値:30~250細胞)、沖合漁場で0~3細胞(前回値:0~5細胞)であった。

岩見・網干・高島上では、陸水等の影響によりアンモニア態窒素の値が高くなっていた。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.6	2.3	2.5	
	リン	0.24	0.29	0.23	
家島・坊勢	窒素	1.2	0.9	1.3	
	リン	0.37	0.30	0.26	

(2/27)

栄養塩 (窒素) 図

2023年 3月 7日調査

